

無料

未来の赤ちゃんを守るため

風しん抗体検査を

受けましょう！

風しんとは？

風しんウイルスが原因でおこる発疹を伴う感染症です。

主な症状は、発疹・発熱・耳の後ろのリンパ節の腫れです。

感染すると…

妊娠中の女性(特に妊娠20週頃まで)が風しんに感染すると、生まれてくる赤ちゃんに、難聴、心臓の異常、目が見えにくくなる、精神や身体の発達に遅れが生じる等の障がいが出る可能性があります。そのため、妊娠・出産を考えている女性又はそのご家族は、事前の風しん予防が大切です。

抗体検査について

対象者

沖縄県在住で、次のいずれかに該当する方

- ①妊娠を希望する女性
- ②妊娠を希望する女性の配偶者や同居者など
- ③風しんの抗体価が低い妊婦の配偶者や同居者など

※過去に風しんに係る抗体検査を受けた結果、十分な量の風しんの抗体があることが判明し、当該予防接種を行う必要がないと認められる者は除く。

期間

令和7年7月28日～令和8年3月31日

(検査枠に限りがありますので、早めに終了する場合があります。)

料金

無料

検査方法

血液採取

結果

来院または郵送（医療機関によって異なります。）

受検の
流れ

Step 1 HPを確認

沖縄県又は那覇市のホームページに掲載されている「風しん抗体検査実施医療機関一覧」を確認する。

Step 2 予約

「風しん抗体検査実施医療機関一覧」から希望する医療機関を選び、本事業を利用する旨を伝えて検査を予約する。
※クーポン等はありません。

Step 3 受検

予約した医療機関で検査を受ける。

※予防接種について

予防接種は有料です。
検査の結果、予防接種が必要な場合は、検査を受けた医療機関にお問い合わせください。

お問合せ先

沖縄県 地域保健課 098-866-2215
那覇市保健所 保険総務課 感染症G 098-853-7972

風しん予防接種

Q & A

Q

風しんワクチンの安全性は？

A

非常に安全なワクチンです。

風しんワクチンは、副作用反応の少ない非常に安全なワクチンの一つです。医師とよく相談し、納得したうえで接種してください。

主な副作用としては、発疹・紅斑・発熱・リンパ節の腫れ・関節痛などが見られます。重大な副反応としては、まれにショック・アナフィラキシー・血小板減少性紫斑病などがあります。

Q

予防接種を1回受けたから大丈夫ですか？

A

生涯で2回接種した方が良いとされています。

予防接種を受けた方のほとんどが風しんの免疫を獲得しますが、1回の接種では免疫が付きにくい方が約5%います。その方々も2回目の接種を受けることで免疫を獲得できる場合がほとんどです。

また、1回の接種で抗体がついた方も、10年ほどで抗体が低下し、風しんにかかる例がみられます。

生涯のうち、2回接種することが大切です。

Q

予防接種はどこで受けられますか？費用も知りたいです。

A

**医療機関で受けられます。
費用は7,000円～10,000円前後
かかります。**

医療機関で予防接種を受けられます。接種希望の際は、検査を受検した医療機関にお問合せください。

予防接種には、風しん単独ワクチンと麻しん風しん混合ワクチン（MRワクチン）があります。

麻しん（はしか）の抗体が低い方も多いため、麻しん風しん混合ワクチンがおすすめです。

費用は 7,000円～10,000円前後です。

Q

子供の頃に風しんにかかった記憶がありますが、免疫があるから大丈夫ですよね？

A

免疫力を調べるため、抗体検査を受けましょう。

記憶違いや風しんに似た病気だった可能性もあります。

現在の免疫の有無を知るために、検査をご検討ください。

Q

予防接種を受けるうえでの注意点は？

A

妊娠している可能性がある場合、接種できません。

妊娠中の方は、風しんワクチンを接種できません。

妊娠中の方が接種したために赤ちゃんに障がいが出たという報告はありませんが、**接種後は2か月間の避妊が必要**です。

風しんワクチン接種後に妊娠が判明した場合、妊娠中断の必要はないと考えられています。

なお、男性のワクチン接種による赤ちゃんへの影響は心配ありません。